

CGFA

2022年度 中国地域U-18審判員強化研修会



(一社) 中国サッカー協会審判委員会
ユース審判員部会

2022年8月5日(金)・6日(土)

倉敷南高校・倉敷古城池高校
倉敷青陵高校・おかやま山陽学校

2022年8月31日

(一社) 中国サッカー協会審判委員会
ユース審判員部会長 辻村俊司

2022年度中国地域U-18審判員強化研修会について(報告)

8月5日(金)・6日(土)の2日間、中国地域U-18審判員強化研修会を倉敷市で実施しました。新型コロナウイルス感染症の陽性者数が日々増す中ではありましたが、宿泊を伴う集合型の実技研修会を審判員9名(内日帰り参加1名)、指導者6名、江角RDOの総勢16名の参加者により4年ぶりに開催する運びとなりました。

5日(金)の西日本サッカーフェスティバル2会場4試合予定していた審判実技研修では、途中激しい雷雨の影響で2試合を終えたところ(倉敷古城池高校会場は前半26分)で大会本部の判断で以降の試合は打ちきりとなりました。担当した試合を指導者と振り返りをおこなった後、さらに審判員・指導者全員で審判分析やディスカッションをおこないました。また、倉敷南高校会場ではスモールプラクティカルトレーニングも急遽取り入れ審判技術向上を目指した研修がおこなわれました。

また、夜の研修会では今回の研修会のターゲットである「動きとポジショニング」について2会場でのトピックスを取り上げ、審判員全員でディスカッションをおこないました。さらに審判指導者による「動きとポジショニング」のセッションをおこない、理論的にもさらに理解を深めるものとなりました。

6日(土)は主審・副審をそれぞれ1試合ずつ担当して、実技研修をおこないました。審判員は前日の研修で吸収したことを意識しながら取り組み、非常に暑い中で多少の疲労はありましたが、それぞれ最後まで持てる力を発揮し、充実した研修会となりました。

今回の研修会を通して、改めて「動きとポジショニングの」重要性を再確認できたこと、中国地域の審判員どうしの交流が図れたこと、同年代の審判員の頑張りに大いに刺激を受けた様子が伺えました。今後の審判活動につながっていくことを期待したいと思います。

最後に今回の研修会に審判員・指導者を派遣していただいた各県審判委員会、研修会の場を提供していただいた岡山県西日本高校サッカーフェスティバル実行委員会、会場校の先生方のご理解とご協力にお礼申し上げます。



中国地域U-18 審判員強化研修会の振り返り（審判員）

（岡山）県 名前（山本 柚稀）

1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

今回の研修で印象に残ったことは、1日目の倉敷古城池高校で、2試合目（平君が主審の時）の前半に雷が鳴って、一度目は辻村先生に確認をしましたが、空が光った瞬間に主審の判断で試合をすぐに中断したことが印象に残っています。

他に勉強になったことは、2日目の倉敷青陵高校での試合で、門原先生がおっしゃっていたことですが、「副審は主審と違い、一直線のライン上で走る距離が短いからこそ、最後の最後まで走りきる必要がある。副審はアシスタトなのだから、主審のアシストを試合の最後までしっかりするためだ。」とおっしゃっていて、その言葉を聞いて、副審の意味を再度勉強させられました。

2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

- ① 十分おこなった
- ② おこなった（十分とはいえなかった）
- ③ 十分おこなえなかった

②おこなった（十分とはいえなかった）

自分は足が遅いので、スプリント力と瞬発力を鍛えていて、試合中でも前半などはしっかりとスプリントをかけれていたと思っていますが、猛暑の中で試合中、体力と集中力がなくなっていくのを実感しました。なので、おこないはしましたが、自分の中で十分だとは全く思いませんでした。

3 自分のレフリングについて

① ストロングポイント（長所）

しっかりと一貫したファール判定が出来ており、副審とのアイコンタクトをしっかりととれていて、選手ともコミュニケーションが取れること。

②課題

集中力と体力が後半になるにつれてなくなっているのので、後半でも集中力が続くように持久力をつけることと、適度な距離で見れるようにポジショニングを研究すること。

4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

今後は、岡山県内の大学に入り、大学1年生で2級に昇級して、大学3年生くらいで、全日本高校サッカー選手権で審判をしたいと思っています。そのためにも、岡山での研修等にも積極的に参加したいと考えています。

中国地域U-18 審判員強化研修会の振り返り（審判員）

（岡山）県 名前（高原 丈己）

1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

自分の運動量、走り方が悪かったか分かった
S字の走り方を意識して走るとよい
笛の鳴らし方が少しわかりにくかったこと

2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

① 十分おこなった

3 自分のレフリングについて

① ストロングポイント（長所）

選手との会話を意識している
笛が良くなる
なるべくプレーをさせるようによく見てから笛を鳴らす

② 課題

ボランチでのパス回しの時のポジションの取り方
判定をするときの自分と争点との距離が遠い
前半から100%でいけるようにする

4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

自分は、高校卒業後は就職なので今年就職先を決めて年始にアカデミーに入り2級になれるほどのレフェリング技術を付けて2級にチャレンジしていきたい。

中国地域U-18 審判員強化研修会の振り返り（審判員）

（広島）県 名前（平 裕太）

1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

まず、ZOOM など画面越しだった各県の指導者とユース審判員の皆様と直接対面でき、コミュニケーションをとる中で、様々な刺激を受けました。

「動きとポジショニング」というテーマを常に意識し、正しい判定をするためにより良いポジションはどこなのかを考えながら取り組みました。

また、何のために動くのか、良いポジションをとるのかということを考え、同世代のユース審判員のいろいろな考え、答えが出てきて、自分は大事なことを考えずに審判していたんだと気づくことができ、二日目のレフェリング時には何か少し違う、良い感覚でレフェリングすることができました。

研修初日で自分が担当した試合の前半 26 分に、雷の影響で試合を中断するという経験をさせていただきました。これが公式大会になり、試合再開時や再試合となったときにはどんな対応をとるのか、天候という変えられない状況になった時の対応を考える貴重な経験をすることができました。

2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

① 十分おこなった

以前参加させていただいた、ZOOM 研修で暑熱対策とトレーニング法の回で学んだ、LSD を朝や夜の涼しい時間帯に 10km を目安に約 50 分間行いました。また、安芸南サッカー部での日々の練習や、研修会前一週間前には、遠征で試合をしていたので、そこでトレーニングとなっていました。

3 自分のレフリングについて

① ストロングポイント（長所）

自分の長所は試合を通してタフに走り続けられる持久力と、体の大きさを生かしたダイナミックなスプリントとシグナルです。

② 課題

動き出しの遅さが原因となり、ボールの動きに巻き込まれてしまう事
フリーキック時、壁の歩測中のボールケアができていないこと。

試合前打ち合わせが的確にできていないこと。

オフサイド時のフラッグアップのタイミングが早い。

（主審時、副審とタイミングをすり合わせるためにも打ち合わせで事前に話す必要がある。）

副審時のフラッグアップの音

4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

今回の研修で出た課題を今後の課題とし、審判活動に積極的に取り組んでいくこと、更に今回の研修を何度も振り返り、ユース審判員のみんなから受けた刺

激、そして指導者の方々から学んだこと、岡山研修での経験を一つも残さず吸収し、自分の今後の活動に生かします。

そして 8/4 より合否の発表があり、二級に昇級させてもらったので、二級の自覚を持ち、より高みを目指します。

進路は広島県内の大学に進学し、広島県アカデミーに参加しよりステップアップしていこうと考えております。

中国地域U-18 審判員強化研修会の振り返り（審判員）

（広島）県 名前（林田 萌芽）

1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

今回の研修のテーマであった「動きとポジショニング」の中で、ボールよりも前に入るのはリスクがあるということであったり、プレーに巻き込まれそうになった時の逃げ方であったりといった技術的な部分、選手にとってどの位置にレフェリーがいればストレスがないかといった根本的な考え方が学べました。

2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

②おこなった（十分とはいえなかった）です。

走りであったり、競技規則の内容の整理であった位はできたのですが、実際にピッチに立ってやるという実戦経験を積みませんでした。

3 自分のレフリングについて

① ストロングポイント（長所）

選手とのコミュニケーション、スプリント

② 課題

サイド攻撃の時に外側まで回り込んでみることに。

フリーキック時の壁のコントロール

4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

目の前の目標としては 2 級資格を取ることと、目標の大学に入って審判活動を関東圏で続けることです。

中国地域U-18 審判員強化研修会の振り返り（審判員）

（鳥取）県 名前（濱田 快吏）

1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

今回の研修では、センターサークル内に僕がよく立ち止まってしまうため、選手と接触してしまうことが数回ほどあったので、センターサークル内に立ち止まらないようにするためにはどうすれば良いかななどを指導していただき、とても勉強になりました。また、今回の研修を通して、中国地区5県の審判員と交流を深めることができました。これからも今回出会った人と切磋琢磨しあい、審判を頑張っていきたいです。

2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

③ 十分行えなかった

（理由）・受験勉強や資格試験のため、体力作りを行っていなかったため

3 自分のレフリングについて

① ストロングポイント（長所）

・体力（走力） ・スプリントをたくさんできること

② 課題

・食事管理 ・センターサークルに立ち止まらないこと ・視野を広げたくさんの情報を常に入手する

4 今後の目標と活動について

大学に合格し、大学生になっても審判活動を続けていきたいです。そして、たくさんの経験を通していつか一級審判員になりたいです。

中国地域U-18 審判員強化研修会の振り返り（審判員）

（鳥取）県 名前（竹田 優）

1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

インストラクターの先生方からは審判に関することはもちろん、進路実現に向けての事も教えていただき、受験生としての自覚がより強まりました。同年代の審判員の方は、ほぼみなさん1級審判員を目標としておられ、僕自身は、そこまでの具体的な目標は、持っておらず、審判への意識はそこまで高くはありませんでしたが、この研修を機にこれからの活動で最終的な目標を設定できたらしらと思いました。最初のスタートポジションが悪く、スプリントの距離が必要以上のものとなってしまっているという指摘をいただき、体力作りとあわせて取り組むべき課題だと感じました。

2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

②おこなった（十分とはいえなかった）

3 自分のレフリングについて

① ストロングポイント（長所）

サッカー理解の高さ

判定の正確さ

選手とのコミュニケーション能力の高さ

② 課題

走力不足で最後まで走りきれない。

ポジショニングが悪くスプリントの距離が必要以上のものとなってしまっていて結果として走りきれなくなってしまう。

4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

まずは、国公立大学への進学をして、そこで審判も含めサッカーに関わっていきたい。

中国地域U-18 審判員強化研修会の振り返り（審判員）

（島根）県 名前（佐野 生昂）

1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

今まではなんとなく見えるところでレフェリングをしていましたが今回の研修では「何が起きそうで何を見たいか」によって、より良いポジションをとるようにと教えていただき、自分のレフェリングを見直すことができました。

より良いポジションをとるために必要な走力、予測、サッカー理解を高めてこれからのレフェリングに活かしたいと思いました。

また、同じレフェリーとして高い目標を持っている仲間達のレフェリングから学ぶことが多く自分にとって大きく成長した研修になりました。

2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

① 十分おこなった

自己管理をしっかりすることができた。

3 自分のレフリングについて

① ストロングポイント（長所）

プレーを予測して動けること

② 課題

勇気を持ってカードを出せないこと

4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

高校生のうちに2級昇級する

大学に進学して積極的に審判する

中国地域U-18 審判員強化研修会の振り返り（審判員）

（山口県） 県 名前（藤本 歩）

1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

動きとポジショニングです。

審判員としてサッカーの試合を円滑に進めるにあたって審判員が、選手の邪魔にならない為に、ポジショニングをとることを学びました。

みたいコンタクトを見るために動くこと、選手のプレーを邪魔しないためのポジショニングをとることを学びました

2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

事前に審判活動をして準備をしました

3 自分のレフリングについて

① ストロングポイント（長所）

試合中の選手どうしの接触をなるべく近くで見ることの出来るスプリントです。

選手とコミュニケーションをとることによりストレスをためない試合中を作る。ペナルティーエリアに侵入する程のスプリント。

② 課題

スプリントを切る中の安定したジャッチ

4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

今回の研修で他県の同年代の審判員にとっても刺激を受けました。

山口県に戻り二級審判員の取得をし、若手の審判員として他県の審判員に負けないぐらい中国地方で活躍できる審判員になります。

中国地域U-18 審判員強化研修会の振り返り（審判員）

（山口）県 名前（赤穴 鷹大）

1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

改めてポジショニングの大切さを痛感しました。常に良いポジショニングをとるためには、予測が鍵となり、その予測の為にチーム戦術や雰囲気を理解すること、しっかり走ることが大切。そうすることによって、選手からの判定に対する説得力が高まるし、試合を上手くコントロールできます。あとは、ポジション争い時の駆け引きによるファールの基準を定めて、一貫性を持たせること、アシスタントレフリーとの事前の打ち合わせも大事だと感じました。

また今回の研修会場となった倉敷古城池高校さんの壁に貼ってあったものをみて、日々努力し続けることがいかに大切か、その事から得られる物はかなり大きいと感じたので、これから辛いことや面倒なことがあっても逃げずに頑張りたいと思います。

2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

②です。試合が中止になった後のディスカッションに出てきた事象について事前にしっかり予測出来ていたか、また試合で起きた時にちゃんと判定出来たかと問われた時出来ていなかったとおもいました。フィジカル面では、自チームの練習や試合を通してしっかりトレーニングはしていたので、そこについては良かったと思います。

3 自分のレフリングについて

① ストロングポイント

② 課題

研修前のレフリングの課題は、笛の大きさ・選手とのコミュニケーション・ポジショニングでした。

4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

これからレフリーとしての経験を増やしていきながら、沢山のことを学び良いレフリングをしていけるように、今回の研修で学んだことも活かして行きたいと思います。また大学進学を考えているので、進学に向けて努力を怠らず勉強をしっかりしていきます。